

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	子ども読書まつり実施事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会事務局	課長名 高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 青木 正代
	基本事業	68	学習やスポーツへの参加機会の提供	所属班	図書館班	(内線) 1540
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始
	1	10	5	8	10807	成果優先度評価結果 6 コスト削減優先度評価結果 9
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 16 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						
【事業の内容】「ヴィーブル」2階全域を使用して子どもたちに読書活動についての感心と理解を深めてもらおうと、各種催しを行う。(おはなし会、主人公体験、科学遊び、おはなしの小道具製作体験など) 【業務の流れ】催しの内容検討決定、チラシ作成及び合志市立各小学校、保育園等へ配布、協力者募集、制作物材料の購入及び下準備、作品製作会場設営、当日各催し担当者職務遂行、報告書作成 【主な予算費目】需用費(消耗品費・印刷製本費・食料費)						

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 「ヴィーブル」2階全域を使用して5月11日(日)に開催。①おはなし会(子ども劇団・高校生有志による影絵・ボランティアさんによる洞窟の読み聞かせ)②主人公体験(迷路をくぐるとグリムワールド「しらゆき姫」)③科学遊び体験・製作(『CD風船エアーカーをつくろう』)、④おはなしの小道具作り(ふしぎな部屋)⑤食育(かばくんとたべよう)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) こんにちは熊日inこうしが5月16日に開催、同日に市行事をおこなうため「ヴィーブル」2階全域を使用して子ども読書まつりを開催する予定。内容は平成20年度同様に行う。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 回 → ア 開催回数 イ 行事参加者数(延べ人数) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 積極的に読書活動を推進する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 開催日の図書館利用者 イ 合志市内の乳幼児から小・中学校の児童生徒数
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに参加する機会がある。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) % → ア 合志市内の乳幼児・小・中学校の児童生徒数に対する参加者の割合 イ
	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 学習に親しむ機会があると思う市民の割合 イ スポーツに親しむ機会があると思う市民の割合

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	単位	18年度	19年度	20年度	20年度	21年度	22年度	23年度	全体計画 ~ 年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		
事業費	国庫支出金	千円		50	35	23	31	31	総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0	
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	240	86	22	34	47	47		47
	(A) 事業費計	千円	240	136	57	57	78	78		78
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費	人	2	2	2	2	2	2		2
正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2		
延べ業務時間	時間	50	50	50	50	50	50	50		
(B) 人件費計	千円	199	199	199	199	199	199	199		
トータルコスト(A)+(B)	千円	439	335	256	256	277	277	277		
活動指標	回	1	1	1	1	1	1	1	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
対象指標	人	1140	1796	1900	1708	1900	1900			
成果指標	%	208	207	210	196	210	220			
上位成果指標	%	8881	8946	8950	9389	8970	8990			
成果指標	%	12	20	21	19	23	24			
上位成果指標	%	45.1	50.8	45.5	47.3	45.8	46			
	%	42.6	46.5	43.3	44.3	43.6	44			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成9年5月子どもの読書活動の推進及び図書館利用の促進を図る目的により開始された。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
『子どもの読書活動推進に関する法律』が、平成13年12月に制定され、自治体における読書活動推進事業の実施が義務付けられている。参加者は年々増加の一途にあり、平成16年4月文部科学大臣表彰の要因になった全国的に評価されている事業である。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
図書館職員が主になり、小中高大学生と一般のボランティアが協力して実施している。人員配置の都合で一日だけの開催であることは、準備に要する手数料を考えると勿体ない。

事務事業名	子ども読書まつり実施事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 子育て支援日本一の市を目指す合志市において、子どもたちに対し心豊かな心身ともに健康な成長を促す事業を実施することは重要なことである。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ この事業を実施することは、合志市の未来に対する投資であり、心身共に健全な子どもは未来の税金納入者となり得る。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象、意図共に現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 予算の有効活用の観点から、対象者がより参加しやすい状況設定をし、参加者数増加を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 職員・ボランティアが協力して実施している全国的に評価される事業であり、その有効性と照合すると、事務事業の廃止・休止は論外である。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 周辺自治体や民間事業にも、類似の目的をもつ事業が他に無い。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事務事業の開始時点において、住民ボランティアの協力を得て、必要最低限度の予算で運営してきた。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 合志図書館においては、他市町村の正職員数の割合は、県内でも下位で85%が非常勤職員で運営して来ている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 図書館法により無料の原則に則って運営している。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…予算の有効活用の観点から、対象者がより参加しやすい状況設定を検討し参加者数の増加を図る。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 参加者の更なる増員を図るため、市立各小中学校に対し説明等を実施して、子どもたちが本事業に参加しやすい状況を設定する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

学校関係者に対し、事業を説明し理解と協力を求める。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	2	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)